

# 交牧連の活動日誌

～みんな違う みんな仲間～

## 第11回 わくわくモーモー牧場を都内で開催!

# 牛乳の素晴らしさ、酪農の現状など 消費者と交流しながらPR

地域交流牧場全国連絡会北陸ブロック(富山県高岡市 clover farm) **青沼 光**

私は1986年に生まれ、共働きの両親の下、広島市内の新興住宅団地で育ちました。酪農はもとより農業にすらほとんど触れることはなかったのですが、中学2年生の時にテレビで牛乳を見たのをきっかけに、酪農に興味を持ち農業高校へ進み、酪農家を目指すようになりました。その後、新潟大学農学部を経て、長野県や富山県の牧場で6年間現場経験を積んだ後、縁あって富山県高岡市の離農牧場を買取り、2015年にclover farm(クローバーファーム)を開業。総飼養数7頭からのスタートでしたが、近年は70頭くらいにまで増やしています。

現在は畜産クラスター事業を活用し、搾乳牛舎・堆肥舎の新設と、地域の稲作農家との連携により飼料生産に必要な作業機械の導入を行っている最中です。これら事業の完了後は総頭数160頭(経産牛120)となる見込みです。

### 生産者だからこそ伝えられることがある

地域交流牧場全国連絡会(交牧連)との関わりは、富山県の新川育成牧場(現・くろべ牧場まきばの風)で働いていた時に始まりました。当時は農



東京でのイベントは開会時間を前倒しするほどの盛りぶり。オンラインを含め28人の会員酪農家が参加

家以外の出身者が「将来酪農家になりたいんです」と話しても「無理、無理」と一蹴されることがほとんどでした。しかし交牧連で出会った人たちはその思いに寄り添い、応援してくれました。本当に心強かったです。

自分の牧場を開業し酪農家となった後も交牧連に加入し、活動を続けています。地元の小中学校の校外学習や職業体験の受け入れ、PTAや農協職員の研修受け入れの他、通常の作業と並行して実施する搾乳体験も好評です。

昨年7月から新たな挑戦として、インターネット上で音声データを公開するポッドキャストを使って、「百年酪農」と題して配信を始めました。また農水省と(一社)Jミルクが立ち上げた「牛乳でスマイルプロジェクト」に賛同し活動を行っています。この年末年始には学校給食が停止する冬休み期間中の牛乳の消費喚起を目的とした「#牛乳でスマイルクリスマス」という企画をツイッター上で実施しました。



会場では加茂太郎・交牧連会長の牧場のホルスタイン3頭を展示。家族連れを中心に注目を集めた

### 今こそ消費者と交流し酪農を知ってもらおう

22年度には交牧連の「需給改善・理解醸成担当理事」を拝命しました。このポストは新型コロナウイルスの影響などによる需給緩和を踏まえ、消費を促すとともに、コスト増など厳しい酪農情勢への認識を高めてもらう取り組みのために新設されたもの。コロナ禍で交牧連活動が停止状態にあった20、21年度と積み上がった予算が活動費に充てられました。

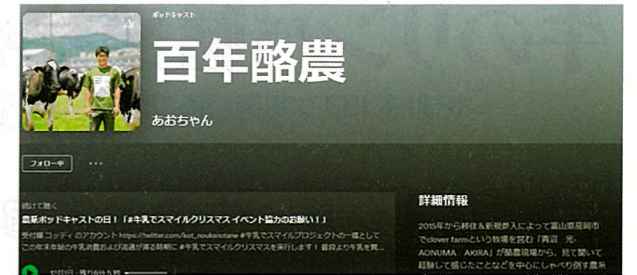
活動内容の検討を進める中、長引くウクライナ紛争や円安の影響が色濃くなり、生乳需要の低迷に加え、飼料などの資材高騰、子牛価格の暴落、さらには人材不足なども加わり業界内に不安と焦りが広がりました。これを受け、交牧連会員の中で「今こそ酪農家が積極的に消費者と交流し、業界のことを知ってもらおう」という機運が高まってきました。

「大変だから助けてください!飲んでください!」と訴えるだけでは一過性の取り組みにしかありません。そこで交牧連の強みである消費者交流を通じ、生産者の熱意や思い、酪農経営の現状、牛乳の素晴らしさを伝えるとともに、「酪農を知ってもらう」「体験してもらう」イベントを大消費地・東京で行うことになりました。

### 本物の乳牛展示に来場者の目は釘付け

消費者交流イベント「わくわくモーモー牧場 豊洲に牛がやってくる」を東京都江東区・豊洲公園で開催したのは22年11月3日。最もこだわったのは本物の乳牛を見てもらうことで、会場の入り口付近に経産牛1頭、子牛2頭を展示しました。牛たちはイベント内容を知らずに通りかかった人たちの目を引いただけでなく、酪農家と消費者との交流を深める上で多大な貢献をしてくれました。会場にはビジョンカーも設置し、「酪農かみしばい」や北海道と宮崎県の会員によるオンライン牧場体験を実施した他、全国の酪農家から寄せられた写真やメッセージなどを放映。展示ブースでは酪農の知識や情勢などに関するパネルと、仕事道具や餌などを展示し、酪農クイズラリーや模型を使った搾乳体験、全国の牛乳・乳製品の販売も行いました。

クイズラリーは体験を重視した内容にしました。生まれたての子牛の重さを当てる問題では来場者に1kg、5kg、40kgの重しを入れたバッグを持ってもらい、牛1頭の日乳量の問題では牛乳パック(10)を使って視覚的に量を表すなど、体を動かしたり、五感



昨年始めたポッドキャスト「百年酪農」のトップ画面。生産現場で日々感じたことを発信している



2015年に第三者継承で牧場を開業した青沼さん(右端)とその家族

に訴える仕掛けを用意。この仕掛けの効果で会場では多くの交流が生まれました。都会ではちょっと味わえない体験をしてもらえたと思います。

当日はオンラインを含め28人の会員が参加。参加できなかった会員からも動画や写真がたくさん提供され、交牧連の団結力を改めて確認しました。

イベント後には打ち上げも行いました。みんな厳しい経営状況なので、すぐに暗い話題になってしまうのではないかと危惧していましたが、終始イベントの話題で持ち切りでした。達成感を共有したり、得られた学びや課題を熱く語り合ったりするなど、打ち上げの場は終始前向きなムードで「交牧連って良いなあ」と実感しました(二次元コードや下記URLからイベントの様子を見ることができます。https://www.dairy-farm.jp/report/r4-1103-waku-mo-mo/)。



### 牧場概要

牧場名 clover farm  
代表者名 青沼 光  
所在地 富山県高岡市佐加野東190  
総飼養頭数 75頭(うち搾乳牛40)  
年間生産乳量 約450t  
飼養形態 放し飼い(フリーバーン)  
飼料畑面積 なし  
牧場スタッフ 4人(本人、妻、従業員2人(アルバイト含む))  
交牧連加入年 2015年  
主な活動 酪農教育ファーム活動、研修や職業体験の受け入れ

### 地域交流牧場全国連絡会(交牧連)に関するお問い合わせ先

(一社)中央酪農会議内交牧連中央事務局  
TEL:03-6688-9841 FAX:03-6681-5295  
メール: koubokuren@churaku.jp  
ホームページ: https://www.dairy-farm.jp/  
フェイスブック: https://www.facebook.com/koubokuren



【交牧連 HP】